

8月3日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほほ

日刊サマーミュージザ

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

ミュージザの夏はバッハの夏！

8/1真夏のバッハVI 大木麻理パイプオルガン・リサイタル



© 青柳 聡

2021年サマーミュージザ唯一のオルガン公演は、プレトークから感染対策に注意しつつ多くの方が来場。村松稔之は裏声での歌唱も披露、演奏者の肉声解説ならではのひとときに。

前半は独奏曲の数々。足鍵盤低音が重厚なトッカータに続き「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」ではパイプが明け方の空のように青く照らされます。「イタリア協奏曲」は現代ドイツの名手クロンプの編曲版で。音色の使い分けで曲が立体的に響くのはオルガン版の強みで、玄人リスナーにも発見が多かったの

では。照明も緑→黄→赤、とイタリア料理の一皿を思わせる彩りに。

後半は大木麻理もリモートコンソールでステージに登場。教会カンタータでは古楽器にも親しんできた奏者たちの丁寧な音作り、中音域のまろやかな佐竹真登のオーボエ・ダモーレを介してカウンターテナーの美しい歌声が重なり、室内楽的な味わいはまさに18世紀流。低音部なしにオルガン独奏が加わる第3曲での浮遊感も魅力的でした。

名匠カルク=エラート編曲

の「G線上のアリア」は中音域での主旋律が美しく、同時代人レーガーが編曲した強弱変化巧みなオルガン版「半音階的幻想曲とフーガ」の壮大さと好対照。各曲の味わいを的確に描き分けつつ弾ききった大木麻理は「心配なことの多い今ですが」と一期一会の場に感謝、アンコールは19世紀のグノー編曲「アヴェ・マリア」。佐竹真登の歌い口にイタリア仕込みの残り香が漂い、「真夏のバッハ」にふさわしい思い出となりました。

白沢達生(翻訳&音楽ライター)



© 青柳 聡

大木麻理(パイプオルガン)
村松稔之(カウンターテナー)

お客様から

大オルガンを使ったカンタータ、よかったです。また聴きたいです。村松さんがとにかくイケメンすぎる。カッコイイ。もちろん演奏もよかったです／(50代・会社員・しゃこんぬ)サマーミュージザの企画で一番好きです！音の動きも重なりも響きも、バッハはどうしてこんなに魂を震わせるのでしょうか。今年もありがとうございました(50代・主婦・ふうこ)／至近距離で聴く肉声の生歌にやられた。聴いた瞬間、涙が流れた。アンコールのアヴェマリアでは涙がドバツ。大木さんのパイプオルガンも色彩感溢れ、迫力があり最高！(50代・会社員・まぐろ)／すっごく楽しかった！2月の幻想交響曲といい、もっとエモーショナルな大木麻理さんが見たい。来年の真夏のバッハ、2部構成希望、夜の部はパッション系で！(50代・会社員・マティビ)

夏音
クイズ
vol.11

【質問】東京フィルハーモニー交響楽団さんからの問題です。(ちょいむず)次の中で、東京フィルの前身「いとう呉服店少年音楽隊」が創立された1911年の出来事ではないのはどれでしょう？

- ① 日本発の洋式劇場、帝国劇場がオープン
- ② ストラヴィンスキー『春の祭典』初演
- ③ キュリー夫人ノーベル賞受賞
- ④ R.シュトラウス『ばらの騎士』ドレスデンで初演

答えは次号！
お楽しみに…



大正2年 子ども会演奏後、栄町店屋上にて

前回のクイズの
正解発表

8/1神奈川フィルハーモニー管弦楽団さんからのクイズ
答えは②の「クラリネット」でした！

出題写真の手は、首席クラリネット奏者の齋藤雄介さんのもの。

クラリネットを支える右手の親指にこぶができてしまうことが多いんだそうです。

巨匠の至芸に 心からの充足感

お客様から

去年は配信で、今年はホールで巨匠のど定番を堪能。今からアーカイブが楽しみに。秋山巨匠の「ど定番」シリーズ続けて欲しいです!(あしも)マエストロが定番を振るとこうなるのかと、むしろ新鮮。オーボエもファゴットもヴァイオリンも気持ち良さそうに演奏していた(50代・会社員・偉そうなコメントでごめんなさい)決めどころをビタビタ決めてくれて、素晴らしいかったです!悲愴は泣きそうになりました(50代・会社員・たらちゃん)コロナ禍での演奏、どうなるのかと心配でしたが、聴けて良かったです。心癒され、あらわれる感じです。素敵な演奏をありがとうございました(60代・主婦・あおい)

8月出張サマーミュージア@しんゆり! 東京交響楽団 昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウワ

今年80歳を迎えた秋山和慶の指揮で、クラシック王道の名曲シューベルト《未完成》とチャイコフスキー《悲愴》を聴くというフェスタサマーミュージアならではの贅沢なプログラム。秋山は今や「巨匠の至芸」の高みにあるのではないだろうか。今回も厚い信頼で結ばれた東京交響楽団と共に、初めて作品を聴いたときの感動を思い出すような素晴らしい演奏を展開した。《未完成》冒頭のチェロと

コントラバスの深みのある音から雄大な世界にいざなわれる。クラリネットとオーボエによる主題とチェロが奏でる主題は歌に満ちて美しい。第2楽章はシューベルトの抒情、激情とロマンが余すところなく表現された。弱音も繊細だった。

《悲愴》は骨太でスケールが大きい。バスクラリネットの最弱音が消えた直後に始まる第1楽章展開部の激しい慟哭が聴く者を揺さ

ぶった。第2楽章の5拍子のワルツは丁寧に進め、一点一面もおろそかにしない。第3楽章スケルツォも派手な演出はなく正攻法で堂々と進む。第4楽章終結部のチェロ、コントラバスはごつごつとした太い音でしっかりと鳴らす。速度が落ち最弱音となり、深い余韻を残して終えた。大地に根を張る大木のようにゆるぎない演奏に心からの充足感を味わった。(音楽評論家 長谷川京介)



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

優待券を
ご提示下さい

新岩城菓子舗

M 10 川崎駅西口周辺

🎁 パートナーショップ特典

どら焼き 1 個サービス
※自家商品 1,000 円以上お買上げの方

苦しい時辛い時、茹だるような暑さに滅入る時、そんな時私たちが救ってくれるのはなにか? そう、甘味です(断言)。

まもなく創業90年を迎えられる老舗の和菓子屋「新岩城菓子舗」さんをご紹介します。お店に入ると季節の生菓子に焼き菓子、多くの創作和菓子が彩り豊かにお出迎え!

私が今回購入したのは水饅頭や、小豆とうふにぜんざい等の夏にうれしい冷たい逸品や、名物「四代目の朝

焼きどら焼き」、川崎とうふなどの創作和菓子。お菓子って見てただけでも嬉しくなりますね。そしてもちろん食べても美味しい!とても幸せな気持ちになりました。

お昼には完売している人気商品もあったので、お目当てのものはお早めに。贈答品としても組み合わせ色々、箱詰めのお菓子は喜ばれること間違いなし。

次回はぜひジャンボ 母大福を食べたいです!(受付・タッキー)



←「四代目の朝焼きどら焼き」、川崎とうふ」他

サマーミュージア公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージアで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasakisymp.hall



Instagram: @muzakawasaki

※対象店舗はサマーミュージア特設サイトに掲載しています。神奈川県版 緊急事態宣言発出に伴い、各店舗の営業状況やサービス内容が変更になっている場合がありますので、ご来店前に各店舗にお問い合わせください。

また、ほぼ毎日ではスタッフが気になるお店やおすすめ店の食レポート(↑上の記事)を掲載しています。こちらもぜひご覧いただけたら嬉しいです。(花)

8月9日までのサービスですので、コンサートの前夜などにぜひお立ち寄りください。

来場時に公演プログラムと一緒に配りしている「パートナーショップ優待券」は、お持ちですか?こちらをミュージア周辺のお店に提示すると、ドリンクやデザートサービス、お料理一品サービス、10%オフなど様々な特典が付いてくる、ちよと嬉しいサービスです。特典が受けられるお店は84店舗。サマーミュージア開催中はいつでも何度でも使えるのも嬉しいポイントです。

ほほ
日刊サマーミュージア
Hobo Nikkan Summer Muza

サマーミュージアももうすでに後半戦。始まってしまつと本当にあつという間ですね。本日で残り1週間。今回はコンサートと一緒に楽しみました。ご紹介いたします。

スタッフ日誌